

稲葉ダムだより

発行: 稲葉ダム安全衛生連絡協議会
事務局 鹿島・大林・さとうJV 稲葉ダム本体建設工事事務所
竹田市大字下坂田830
TEL 0974-66-3939 FAX 0974-66-3940

稲葉ダム近隣地区の皆様には、厳しい寒さの続く毎日、心より寒中御見舞い申し上げます。平素よりダム建設工事に格段のご理解、ご協力を頂き有難うございます。

当工事におきましては、本体工事、貯水池対策工事の1工区、2工区、3工区、4工区、5工区、7工区の工事、残土処理場工事、各法面保護工事、6号付替林道の改良工事を先月に引き続き進めていきます。

本体工事は、堤体コンクリートを300トントラックローラークレーンで打設を進めています。また貯水池対策工事(右岸側)では、コンクリート構造物の構築を引き続き、貯水池土工は最終段階に入っていきます。さらには、左岸側におきまして、貯水池土工の準備を行っていきます。仮締切の直下では、コンクリート構造物の構築を引き続き行っています。残土処理場工事では、掘削残土の受け入れが引き続きあります。

工事の進捗に伴い、各社との連絡調整を密にし現場内の安全はもとより現場外の交通安全等にも十分注意していきますので、今後とも宜しくお願いします。

まだまだ、寒い日が続くと存じますが、お身体御自愛ください。皆様のご健勝を祈念いたしております。

お知らせ

発破作業予定

引き続き発破作業を下記のとおり実施いたします。退避のご協力をお願いします。
原石山の発破は、毎日12:00と17:00の2回行っています(基本的に土日は行いません)。

*現場見学をご希望の際は、当企業体もしくは竹田ダム建設事務所まで、お気軽にご連絡下さい。

トピックス

今月は、貯水池対策工のメイン工事の中の1つ、コンクリートフェーシング工事について説明したいと思います。

まず、フェーシング(Facing)とは、一般的に表面遮水壁のことで、コンクリートフェーシングとは、コンクリートで造る表面遮水壁のことです。貯水池内では、勾配の急な斜面に採用されています。施工方法は、次の通りです。



打設スタート時の状況



打設中盤の状況

一般的な方法は、斜面部に型枠を固定して、型枠の部分だけコンクリートを打設しますが、各工区のうち1工区では、移動式(スライド式)型枠をセットしてコンクリートを打設していきます。コンクリートの打設が進むにつれて、型枠を斜面上方向へウインチでスライドさせます。型枠の移動速度は、概ね1分間に4~5cmです(写真 ~)。

この作業を行いながら、斜面延長約22mを打設しています。

使用している移動式型枠の名前は、スリップフォームといいます。

現場の様子

本体工事

下流側

減勢工



1月末で本体コンクリートが

208,000m³

打設完了予定です。

(全体打設量22万m³)

稲葉ダム本体工事

撮影日:平成19年1月16日

貯水池遮水工事

右岸 1工区



貯水池対策工事



貯水池対策工事

右岸3工区、左岸7工区



左岸 4工区、5工区

